



袋井市立聖隷袋井市民病院

渡邊 真智子 さん

看護師経験：22年 看護課長

特定行為取得区分

- 水分および栄養に係る薬剤投与関連
(2022年度取得、2023年6月より活動開始)
- 特定看護師はユニホームと名札で分かるようになっている



受講の動機・きっかけは…

当院は慢性期医療を担う病院です。療養の経過の中で、病態が悪化する患者さんの多くは、近隣の急性期病院に救急搬送することになります。病態が悪くなってからでは、患者さんの負担も大きいです。

一方で、患者さんの近くにいる看護師が、病状を正確に把握し、悪化の兆候を掴み、予測し、早期に治療介入ができれば、当院でも対応ができます。患者さんの負担も少ないと考えていました。

そのような時、看護部長から、特定行為研修の受講を勧められました。当時は看護課長になったばかりでしたので、課長の役割を担いながら、特定行為研修を受講することができるか、不安もありました。しかし、患者さんの病状を正確に捉え、対応する力をつけたいという思いが強く、特定行為研修の受講を希望しました。



やりがいは…

特定行為研修を通して、不十分ながらも自分自身の「アセスメントする観察の型（網羅的に身体観察をする時の流れ）」ができました。実践の軸としては、特定行為にとらわれず、アセスメントする観察の技術を活かし患者と関わることを大切にしています。私は、水分および栄養に係る薬剤投与関連の区分を取得

しました。脱水の兆候から輸液計画を立案することも重要ですが、脱水に陥らないような看護実践を心がけています。必要な水分量を算出し、飲水量や食事摂取量の目標を定め、輸液を回避できる方法を職場の看護師と検討することを大切にしています。

現在、院内でフィジカルアセスメントの講義や、特定看護師の仲間を増やすための特定看護師座談会の開催を行っています。

介入したことで、輸液せずに経口摂取で脱水が回避できた患者さんが無事退院する時、スタッフから、講義の内容が実践で活かされたと報告を受ける時や、特定看護師を目指したいという声が届いた時は、やりがいを感じます。





1日のスケジュール

高齢の患者さんが多く入院しています。高齢者は、自らの症状を正確に捉える事や伝える事が苦手な方が多いです。

1日のスケジュール

<課長として病棟管理をしながら、病棟の患者さん中心に活動している>

- ①病棟をラウンド（病棟課長と特定看護師として）
⇒ 患者さんの様子を自分の目で確認することを意識しています。
- ②スタッフから患者さんの身体症状について報告や相談を受ける。
⇒ スタッフと一緒にベッドサイドに行き、アセスメント観察。
- ③医師への報告・相談
⇒ 共通科目で学んだ診察のプロセスを意識し、重症度や緊急度を判断した上で鑑別疾患を考え、医師に報告。



活動に欠かせないバック

一連の流れをスタッフと共に行うことで、病棟の看護実践の質の向上を目指しています



みなさんに伝えたいこと

特定行為や特定行為を実施した件数にこだわるのではなく、特定看護師としてどのように患者さんと関わることが、患者さんの最善な療養生活につながるのかという視点で実践することが大切です。共通科目で、病態生理や臨床推論、コミュニケーションスキルを学びなおすことは、思考と実践の深化に繋がります。より良い看護をするために、多くの看護師に特定行為研修の受講に挑戦してもらいたいと考えています。



趣味・楽しみ

休日は、家族と過ごす時間を大切にしています。子供の野球を観戦し、スコアの当番の時は、一緒にベンチにも入ります。夜の晩酌も楽しめます。

組織ビジョン & 応援メッセージ



春日 三千代
看護部長

看護部のビジョン:
当院のような慢性期病院では、医師のタスクシフトではなく療養上の世話を実践するにあたり看護の専門性を発揮することが何よりも大切です。看護部とし

て看護の専門性を発揮する人材を育成したい、そのように強く思いました。

特定行為研修修了者への期待:当院の患者は、急性期病院での治療を終え、病状が安定しているとは言え、高齢や認知症によって自ら身体の不調を訴えることができません。特定看護師が臨床推論、身体診察など修得した知識やスキルを活用し、患者にとって最適な看護・医療を提供する、ベッドサイドOJTを通して看護師のフィジカルアセスメント力の

組織ビジョン & 応援メッセージ

向上に注力することを期待しています。

活動促進：看護部の中でも、特定看護師の活動への認知度には温度差があります。高齢の入院患者は、ちょっとしたきっかけで病状が大きく変化します。特定行為の実施に着目するのではなく、入院の目的にあった療養生活が送られるよう悪くなる手前に積極的に介入できるように医師や看護師にアピールをしています。

今後にむけて：当院には、渡邊さんの他に特定看護師が2名、受講中が2名います。行為区分は創傷管理関連、感染に係る薬剤投与関連、呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連です。特定看護師が、院内横断的に活躍、また、いずれ地域に求められる存在になるように活動を支援していきます。<特定看護師の活動を推進し、患者の意思を尊重した質の高い療養生活支援を目指す>

【静岡県看護協会特定行為研修修了者研修で看護部長と一緒に立てた活用ビジョン】
このビジョンを看護部長と作成したことで活動の方向性が明確になり、日々の活動に活かす事ができています。

特定看護師の活用ビジョン 院内・院外(地域)で特定看護師が活躍する 現在地(ビジョン達成に向けて、困っていること) ①特定看護師が1人しかいない ②特定看護師と医師による症例検討の場がない ③病棟によって特定看護師の認知度の差がある ④特定看護師が活動する時間の保証がない ⑤地元医師会が特定看護師の存在を認知しているかわからない	修了看護師の活用・配置の分類 私たち施設は、Bの活動をしながら、将来的にCを目指す ゴール(ビジョン達成のための課題) ①特定看護師が10名になる ②医師と症例検討を行うための仕組みをつくる ③全ての看護師が特定看護師の活動を理解する ④特定看護師が活動する時間を保証する ⑤地元医師会が特定看護師を認知する
---	---

ビジョン達成のための課題＝自身が具体的に取り組む道標

①特定看護師10名	2023.12(済)	2024.1	3	4	5	7	2024.8~	2025.2
②医師と症例検討を行う仕組みづくり	特定看護師による「症例検討会」(週1回)				院内にて「特定看護師と医師による症例検討会」(週1回)	院内にて「特定看護師と医師による症例検討会」(週1回)	院内にて「特定看護師と医師による症例検討会」(週1回)	院内にて「特定看護師と医師による症例検討会」(週1回)
③(院内の)全ての看護師が特定看護師の活動を理解する	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)
④特定看護師が活動する時間を保証する	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)
⑤地元の医師会が特定看護師を認知する	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)	院内研修(特定看護師の役割、活動の場)



袋井市立聖隷袋井市民病院
林 泰広 院長

当院は急性期病院ではなく、慢性期・回復期医療を中心とする中規模病院です。常勤医師6名(4名が65歳以上)という体制で、日々の診療では看護師の役割が非常に重要です。看護師が患者さんの変化を拾い上げて、医師と協働して診療に活かす仕組みができています。加えて特定看護師の活躍により診療の質がさらに向上することは大変ありがたいと思っています。

具体的な成果として

- ①診療の補助業務の高度化：特定行為のスキルを活かし患者ケアの効率化が図られ、医師の業務軽減につながっています。
- ②患者の病態管理と早期介入：慢性疾患を抱える高齢患者の病状変化に迅速に対応

- して悪化を防いでもらっています。
 - ③チーム医療でのリーダーシップ：多職種と連携を深め中心的存在となっています。
 - ④患者教育・指導の充実：患者や家族への特定行為の知識を活かした指導により生活の質向上を支援しています。
- 高齢者が一気に増えていく中、慢性期・回復期医療においても、特定看護師の活躍は時代のニーズに応えるものと大いに期待しています。「もう高齢だから仕方ないね」ではなく、病態をしっかりとジャッジした上で、看護師から医師にどんどん提言してほしいと思います。

